



Yokohama,DOG RESCUE

北浦 清人

横浜市戸塚区平戸町 1097-65 Tel 045-825-5991 fax 045-825-5992

mobil/ 090-9365-9649 mobil mail/ dogrescue@ezweb.ne.jp

【郵便振替】 00230-2-0074212 ヨコハマ・ドック・レスキュー

新潟中越地震に対応について

多くの皆様から、10月23日に発生した、新潟中越地震の対応についてお問い合わせがありましたので、10月26日現在の準備状況や、今回の被災についての予想などをまとめましたので、ご参考にして下さい。

1、現在、現地の方と連絡を取り、家庭動物の被災状況と今後が発生する保護の必要性について、情報を収集しています。また、出動する場合に供えて、足りない装備を揃えて、準備をしているところです。

2、今回は、阪神と違い、有珠山や三宅島に近い形の被害を動物に与えると予想しています。第一派の地震そのものによる直接的な被害（崩壊家屋に閉じこめられる等）は最小だと思いますが、その後の避難や行政の困り込みによる疲弊的な被害を心配しています。

有珠山の時も、人的被害は一人も出ませんでした。行政の避難指示と、ゲッター的な避難所管理によって、被災者の皆さん疲弊してゆきました。多くの避難民を管理しやすいように、困り込むのです。また、三宅島との共通点は、地域全体を中長期に渡り放棄せざるをえず、避難生活が長期に渡る可能性が高い点です。三宅島の場合には、遠方に一挙に避難しましたので、被災者の過労死や置き去りされる動物は少なかったですが、今回は至近距離に詰め込んでの避難ですので、かえって悪いかもかもしれません。

3、行政の対応についても、山古志村種芋原地区で避難のヘリコプターに犬を乗せて貰えずに、置き去りにせざるを得なかったとの報告もあり、飼い主さん自身が家庭動物を守ろうとしても叶わない状態になりかねません。都市部の住民と異なり、地方交付金で成り立っているような地域ですので、住民は行政に従順で、どうしてもそうなりかねません。

具体的な予想している救助対象は、

- ①置き去りにされている家庭動物 (2～3週間は十分に生存可能です)
- ②避難の長期化による放棄される動物 となります。

有珠山の際も、獣医師会・愛護協会・福祉協会の開いた救援本部が活動しているという事で一ヶ月程度静観していましたが、患畜を受け入れるだけのペットホテルのような施設で、ケージに入れっぱなしの保護犬たちが何頭も衰弱死し、徘徊している何十頭もの犬に給餌さえしていない事が分かり、出動した次第です。救助中も一切の協力を得られず、全くの独力で32頭を捕獲・保護しましたが、今回も同様の進展になると予想しています。

(有珠山の中間報告はサイトで参照下さい)

実際に出動すると言っても、現在、傷病獣を多数抱えていますので、留守隊だけでも一日10人以上が必要ですので、長期に現地で活動を続けられないと思っています。従って、現地の有志の方に資材とノウハウの提供し、保護体制を整える事と、救助をしたことな無い人には無理ですから、隔離地域に残された犬猫を捕獲すること(多分ヘリを飛ばす事になりますが、ケーブルに体を固定するハーネスが有珠山以来太ってしまい、きつくなっているのに苦笑いです)等だと予想し、準備をしております。

まだ、不確定ですが、決まりましたらご連絡致しますので、宜しくお願いいたします。
取り急ぎ、状況説明まで
Yokohama, DOG RESCUE 北浦清人